

無煙炭化器



棚田の開拓時に伐倒などした木、枝、竹、カヤなどを簡易に炭にする「無煙炭化器」の製造を株式会社シマノ（鉄工所）に依頼。直径145cm。蓋に取っ手を4か所付け、使いやすく設計。1枚のステンレス板だと高価になるため、数か所ずつないで安価になるように工夫。市販の無煙炭化器のステンレス板の厚みよりも厚くして耐久性を持たせているが、市販の約半額で制作できた。積み上げられている端材や竹、カヤなどを安全に燃やし、炭にして畑に土壌改良剤として蒔く。野焼きが難しい棚田では極めて有用で不可欠な炭化器である。



ニホンミツバチの分蜂 (4月)

棚田のニホンミツバチ



ニホンミツバチはおとなしく、人を刺すことはめったにない



2020年7月10日、棚田の栗の木の下に設置した巣箱がクマに襲撃され、中の巣やハチミツをすべて食べられてしまった。近くにクマの糞があったので、クマによるものと考えて間違いないと思われる。この巣にいたニホンミツバチは、薪ラックに設置してあった巣箱に入った模様。その後、薪ラックの巣箱で営巣を続け、満杯になったらしく、近くの梅の木の下に設置してあった巣箱に分蜂したと思われる（目撃はできなかった）。ちなみに、分球はこれまでの巣にいた母親の女王バチが出て、新たな巣をつくるものである。元の巣は、娘の女王バチが引き継ぐ。



上の分蜂の写真は、甲賀区の集落で4月に見た蜂球である。